

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 千寿双葉小学校 校長 星崎 誠

1 学校教育目標

これからの未来を、生き甲斐をもって生きていくことのできる知・徳・体・情操の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざす。

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 読書の楽しさ、喜びを味わわせ、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ② 図書館の図書や資料を効果的に活用し、課題解決を図り、主体的な学習態度を育てる。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11905 冊（蔵書基準冊数 9560 冊）／ 蔵書率 119%（前年度末 121%）									
	② 新規購入図書 491 冊 ／ 廃棄図書 110 冊 ／ 増減冊数 380 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	9%	1%	6%	7%	13%	4%	3%	7%	3%	55%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、昼休み（読書旬間：授業時、中休み、昼休み）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 64.4 冊（前々年度末： 43.18 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 93.4%（前々年度末： 83.1%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,101 冊（蔵書基準冊数 9,560 冊）／ 蔵書率 116.1%									
	② 新規購入図書 383 冊 ／ 廃棄図書 1,322 冊 ／ 増減冊数 -939 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	2%	6%	7%	13%	5%	3%	7%	3%	55%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、昼休み（読書旬間：授業時、中休み、昼休み） （前年度からの変更なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 64.4 冊（前年度末： 43.18 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 93.4%（前年度末： 93.4%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 易しい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手にとる機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		① 各学級月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況		
① 全学級達成できた。 ② 年間で1人あたり30冊以上の本を読むことができた児童は100%。 ③ オリエンテーションを実施した学級100%。		
第2学年	① 易しい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	

今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各学級月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。
目標達成状況		
① 全学級達成できた。 ② 年間で1人あたり30冊以上の本を読むことができた児童は97%。		
第3学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各学級月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 1か月に3冊以上借りた児童の割合が80%以上。
目標達成状況		
① 全学級達成できた。 ② 年間で1人あたり30冊以上の本を読むことができた児童は97%。 ③ 1か月に3冊以上借りた児童の割合は、97%。		
第4学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。		① 各学級月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 1か月に3冊以上借りた児童の割合が80%以上。
目標達成状況		
① 全学級達成できた。 ② 年間で1人あたり30冊以上の本を読むことができた児童は97%。 ③ 1か月に3冊以上借りた児童の割合は97%。		
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。		① 各学級月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 1か月に3冊以上借りた児童の割合が80%以上。

目標達成状況	
① 全学級達成できた。 ② 年間で1人あたり30冊以上の本を読むことができた児童は97%。 ③ 1か月に3冊以上借りた児童の割合は99%。	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	① 各学級月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり30冊以上の本を読む。 ③ 1か月に3冊以上借りた児童の割合が80%以上。
目標達成状況	
① 全学級達成できた。 ② 年間で1人あたり30冊以上の本を読むことができた児童は70%。長編の本や家庭にある自分の本を好む児童が多く、数値としては想定よりも低くなった。 ③ 1か月に3冊以上借りた児童の割合は、71%。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を12月中に完了させる。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	① 12月中に作業を完了するのは難しかった。来年度は年明けすぐに終わらせるように計画的に進めていく。 ② 今年度は古くなった本を多く廃棄することができた。来年度も廃棄図書と新規購入図書の入れ替えを計画的に行っていく。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 学校図書館支援員や図書委員会の児童と協力をし、季節に合った掲示物や本の紹介コーナーを作り、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。	① 全学年オリエンテーションを行うことができた。また、どの学級に対しても図書の時間に図書館支援員が児童に読み語りをする機会を設けることができた。 ② 要望を受け、学年や学級での貸し出しを行うことができた。 ③ 季節ごとに飾りを作成したり、ポスターの掲示、本の置き場の検討を行ったりして、環境整備に努めることができた。
【その他】 ① 図書委員の児童や図書支援員が昼休みに返却と貸し出し作業をし、貸し出し冊数も一人3冊までを可とする。 ② 昼の読書タイムを一週間に4日間設け、読書に親しむ環境をつくる。 ③ 夏の読書感想文コンクール、図書館を使った調べる学習コンクールへ積極的に参加する。	① 通常貸し出し3冊までを実行できた。加えて、夏休み前や冬休み前は一人5冊までの貸し出しをすることができた。 ② 昼の読書タイムを設けることができた。 ③ どちらも自由参加であったが、担任や図書館支援員による児童への呼びかけにより、無事に学校代表を選出することができた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

図書館支援員と連携することで毎年1年生に行っていたオリエンテーションを、今年度は全学年行うことができた。本を丁寧に扱う児童が増えたように感じる。また、外部機関や図書委員会で児童の読書量を増やす取り組みを行った。読書週間の際には、足立区立中央図書館の方の読み語り、図書委員会児童による読み語り、おすすめ本や貸出数ランキングの紹介、をした。また、児童から読書週間のスローガンを決めたいという声があり、実行できたことで週間を盛り上げることができた。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・図書館支援員が週2日から4日に増えたので、学習に使う本の相談などが行いやすくなった。
- ・図書館支援員は、同じ人が週4日来てほしい。
- ・本棚が足りないなので、増やしてほしい。
- ・高学年用の読みものが少ないように感じる。
- ・大型本が増えて低学年児童が楽しめた。
- ・ブックトラックで学年用に貸し出しをしてもらえてよかった。